

巡_12

心電図マニュアル

目次

1. 使用器材について	・・・	P 4
2. タブレットの準備、設定	・・・	P 6
3. 心電計の準備	・・・	P 1 1
4. 心電図測定	・・・	P 1 7
5. 後片付け	・・・	P 2 4

1. 使用器材について

・心電図セットの中身



- ECGペーパー 3
- 靴べら 2
- 延長コード 2
- メコノムシート 2
- エコパッド入れ 1
- リヴィ 1
- アルコリーフ 1
- 四肢 1セット 胸部電極 1セット
- 予備電極コード 1
- ビニール袋 30L/14号
- 養生テープ
- 四肢電極ガーゼ
- バスタオル 2
- アルコールスプレー 1
- シリンジ
- ペンチ
- メジャー 2
- ケラチンクリーム
- エコパッド 2

ポーチの中

・心電計の中身



- 本体
- 電源コード
- 電極コード 1 or 2
- 四肢、胸部電極 各1セット
- 予備SDカード 2 (基本は使用しない)
- メジャー 1
- 提出波形の表紙
- 点検表ファイル
- 心電図取り決めファイル
- アースコード2 →2025年より車の予備資材に移動



- タブレット
- QRスキャナ
- 充電器+充電電池2本
- タブレット電源コード
- プリンタ電源コード
- プリンタ
- 延長コード



完成イメージ

※ ベッドの裏に挟んでいるクリップでメコノムシートを4か所固定する。

2. タブレットの準備、設定

2-1. タブレット準備



□タブレットコンテナから左記セットを取り出す

- ・タブレットセット
- ・プリンタ
- ・延長コード

※タブレットセットとプリンタは番号を揃える



□タブレットセットの中身を取り出す

- ・タブレット
- ・QRスキャナ
- ・充電器+充電電池2本
- ・タブレット電源コード
- ・プリンタ電源コード

※必ず番号が揃っていること

2. タブレット・機器の準備、設定

2-2. タブレットの電源コードを接続



□タブレットカバーを開いて、左下の電源カバーを外して電源コードを接続する



□プリンタの電源カバーを外して
電源コードを接続する

※コンセントと接続すると自動で電源が入る



□延長コードに全ての電源と充電器を
接続する

2. タブレット・機器の準備、設定

2-3. タブレット起動



□タブレット右側の「グレーのボタン」を
しっかり押す



□電源が入ると左記画面が起動



□起動し終わると左記画面になる



□電源ボタンをしっかりと押す
電源が正常に入ると「ピッ」と効果音が鳴る

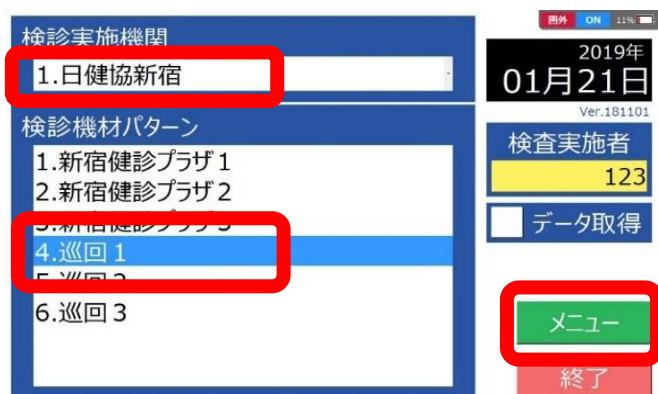
2. タブレットの準備、設定

2-4. 健診ソフトの起動

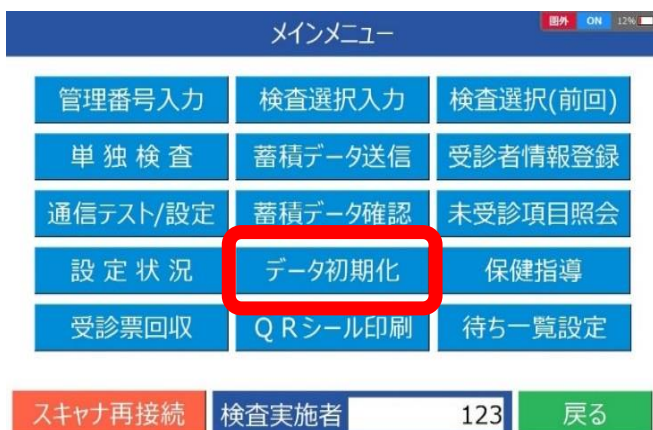


□『KenshinNKK』を素早くダブルタップ

※指先で素早く2回タッチする

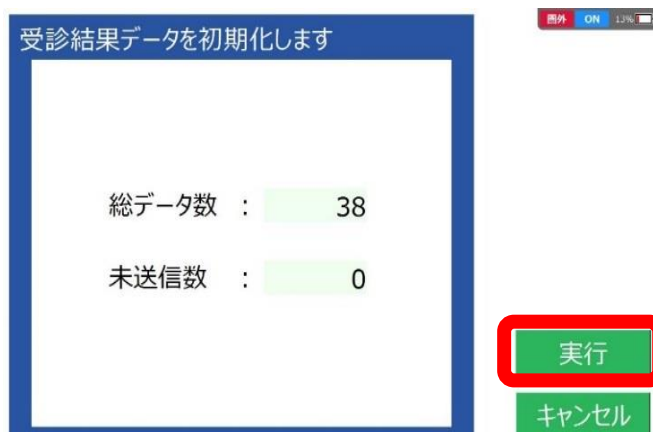


□「1.日健協新宿」と『4.巡回1』が選択されているのを確認し、『メニュー』をタップ

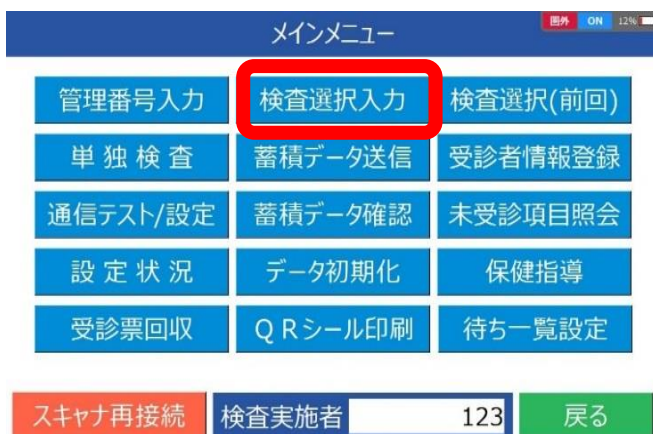


□メインメニューより「データ初期化」をタップ

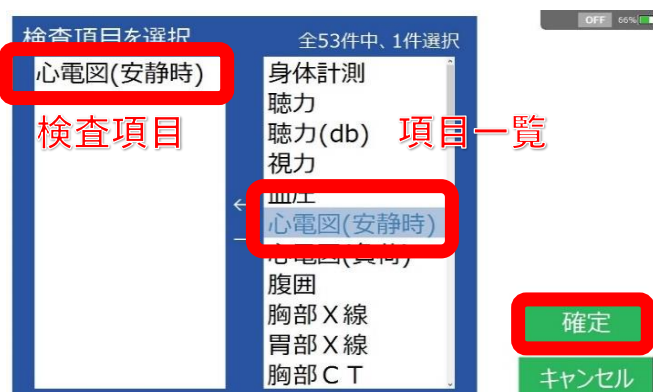
※前回（前日）のデータが残っている為、基本的に毎朝行う。続き現場等では初期化しないこともある為、その場合はチーフに確認する



□「実行」をタップし、初期化終了後は「キャンセル」でメインメニューに戻る



□メインメニューより「検査選択入力」をタップ



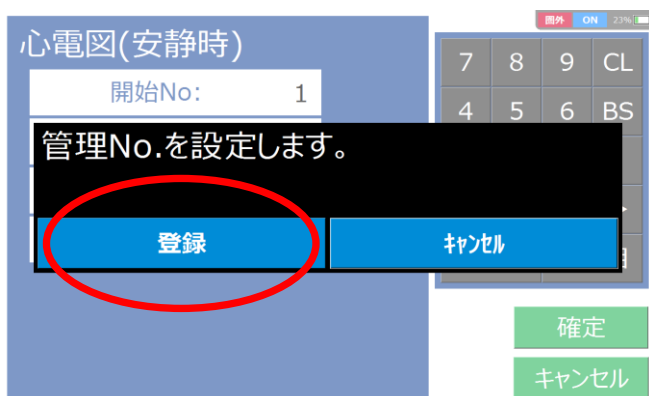
□「心電図」をタップし、「確定」をタップ

※検査項目側に前回設定時の検査が残っていたら、不要な検査項目をタップして削除

※最後の項目になる場合は、「未受診項目」も選択する



□後日用の番号はすべて「1」に設定、
No.シール発行は「0.無」を設定し、
「確定」をタップ



□「登録」をタップ

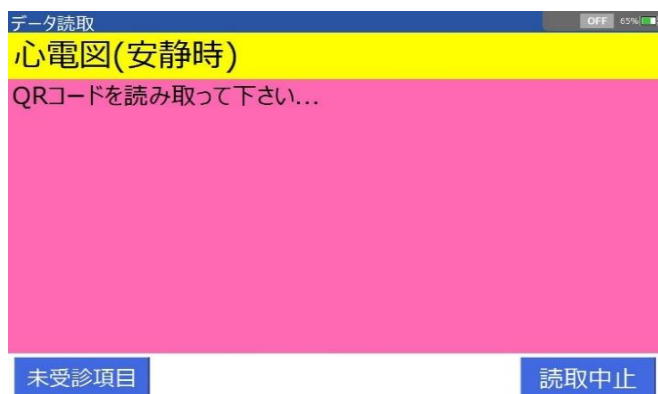


□『プリンター』の表示が出たら、
本体のバーコードをQRスキャナで
読み取る



※読み込めない場合

- ①スキャナが光っているか確認
- ②メインメニューに戻り「スキャナ再接続」
をタップし、「ピー、ピピッ」と2度
効果音が鳴った後、検査項目を設定
し直してみる



□左記画面になれば起動完了

3. 心電計の準備

3-1. 設置方法

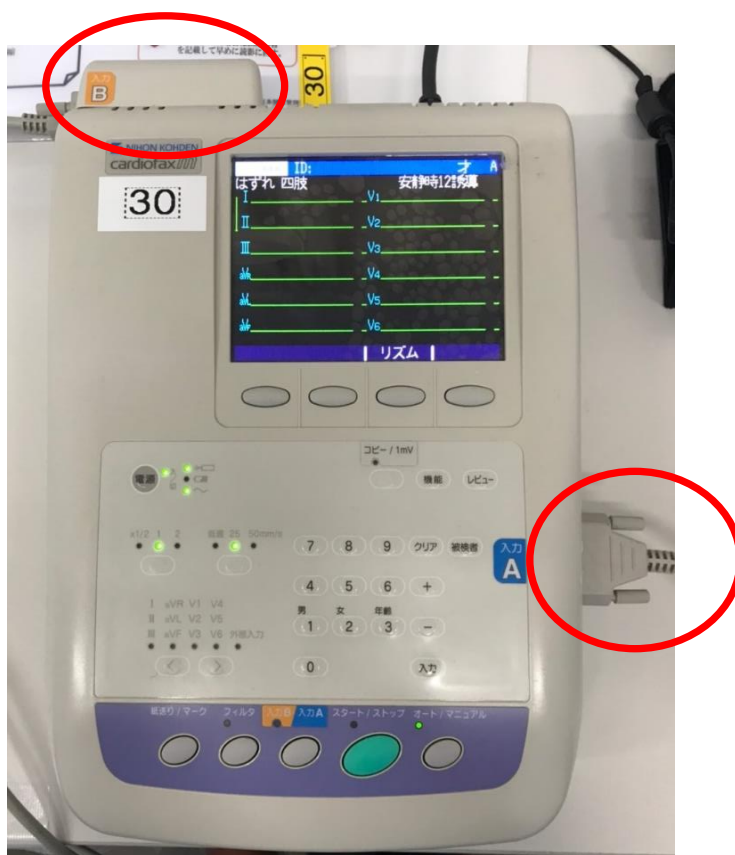
- ・各コードを所定の位置に接続する
アースコードの先はベッドの足につける



- ・電極コードが邪魔にならないよう、養生テープで固定する。
直接ベッドに養生テープを貼ると傷んでしまうので注意。



(注意！) 左手の電極コードが絶対に右手に届かない長さまで短くなっているか確認する



- ・シリンジを用い、四肢電極ガーゼを水で濡らす
(注意！) 2ベッドで検査を行う場合はA, B二カ所に電極コードを接続する
心電計向かって左のベッドはBの部分に電極コードを接続し、向かって右のベッドはA部分に電極コードを接続する

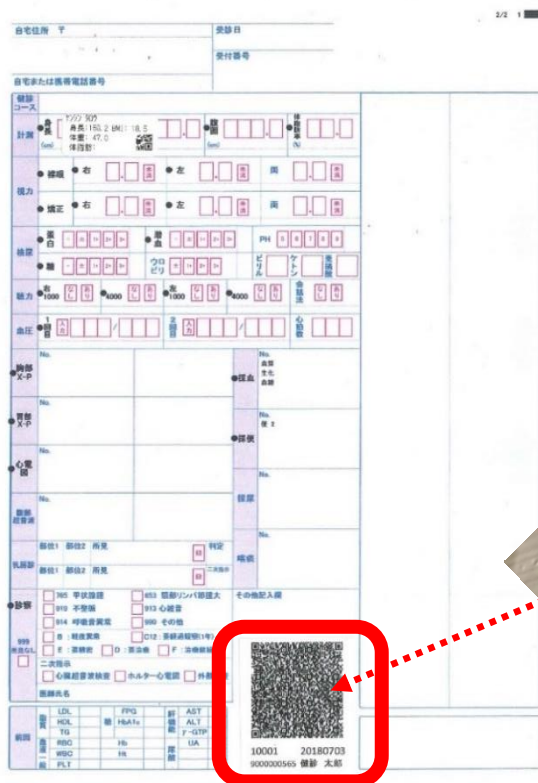
3-2. 機械起ち上げ

- ①機械本体右側【←】に「SDカード」を挿入。そのあとに「電源」ボタンを押す
 → 黒かごに準備されているものを使用



3-3. 受診者情報入力

- ①受診票のQRコードを読み込む

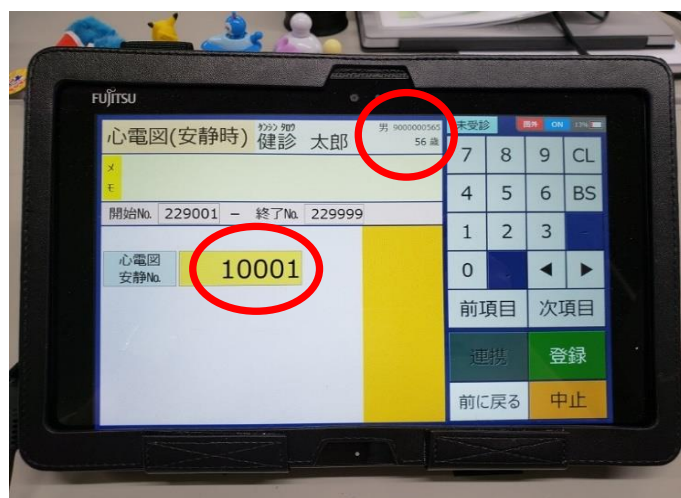
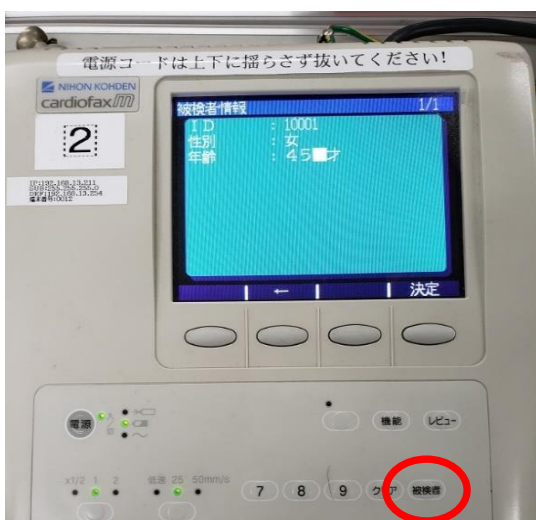


②心電計の「被験者」ボタンを押し、受診票またはタブレット画面を見て

心電計に『ID・性別・年齢』を入力する。→ **2020年よりタブレット使用時はIDのみで可**

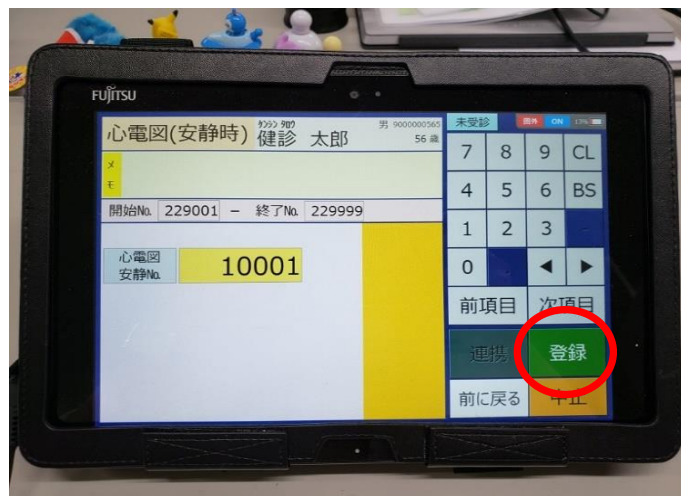
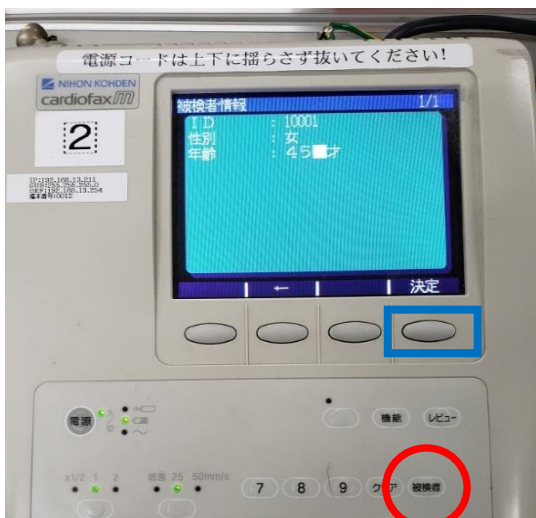
ID=受診番号

西友などIDを使用しない場合は全て入力



③入力間違いがないことを確認し、「被験者」ボタン又は「決定」ボタン【青枠】を押して

測定画面に戻す。タブレットも登録を押しシールを印刷する



4. 心電図測定

4-1. 心電図測定

①電極を付ける

 電極の付け間違いがないか確認

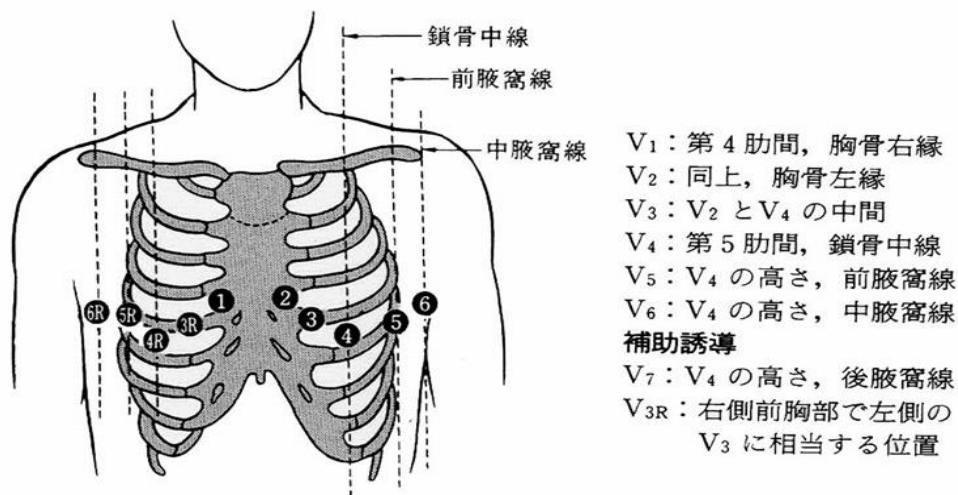


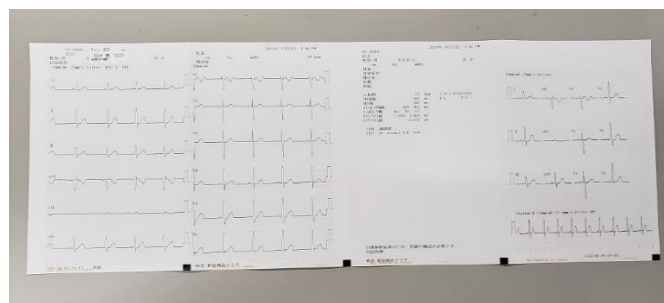
図 1-23 胸部誘導電極の位置

②波形が安定した事を確認し、「スタート」ボタン【緑枠】で記録する

(基本波形枚数はペーパー4枚分 四肢誘導/胸部誘導/自動解析/リズム)

※期外収縮や徐脈の方は、必ず記録延長する。(別紙 心電図 取り決めに基づく)

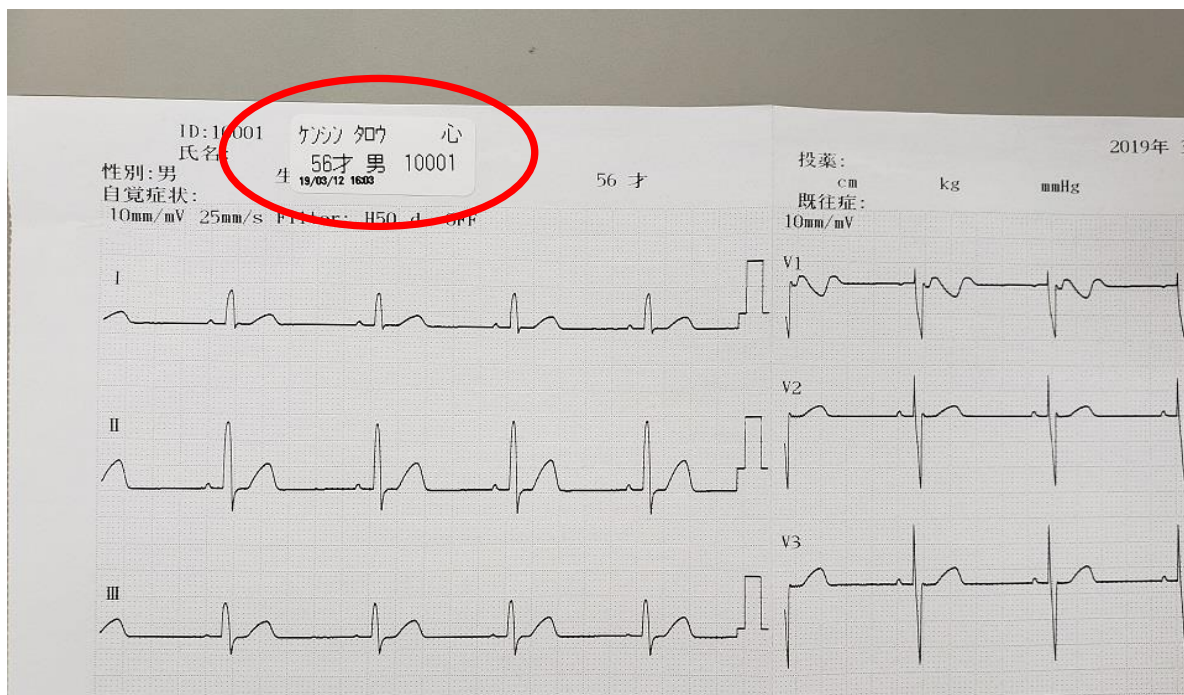
 心電計画面の波形を見て付け間違いがないか確認



③電極を外す

 外しながら電極の付け間違いがないか確認

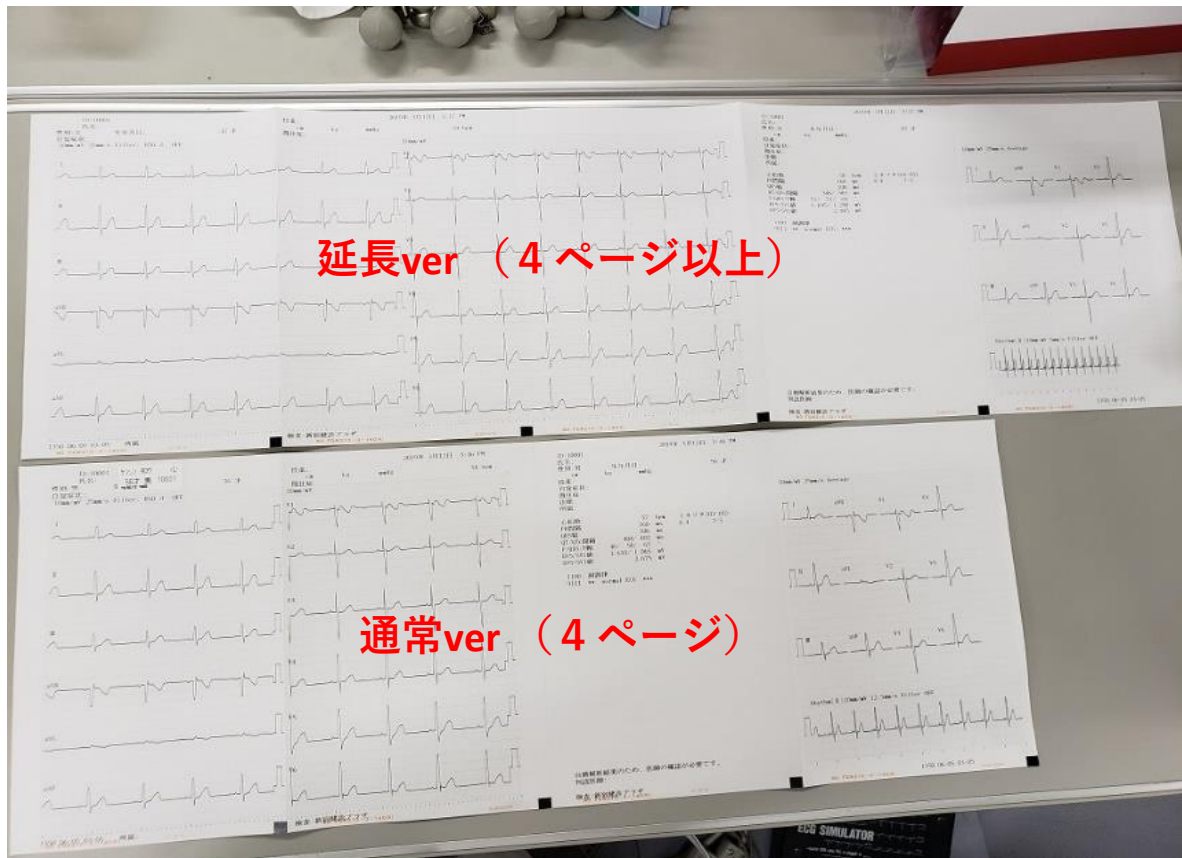
- ④記録が終わったら波形左上のIDの横に名前のシールを貼り、
受診票左下「●心電図」のところにレ点をする



The image shows a medical form with various checkboxes and fields. A red circle highlights the '心電図' (ECG) checkbox, which is checked with a red checkmark. The form includes sections for '検査' (Examination) with checkboxes for '蛋白', '糖', '聴力', '血圧', '胸部 X-P', '胃部 X-P', '聴部 超音波', '乳房診', and '診察'. There are also fields for 'No.' and '採血' (Blood Sampling) with a red circle around the '採血' label. The patient's name 'ケンジ 知の' and ID '80001' are visible on the right side of the form.

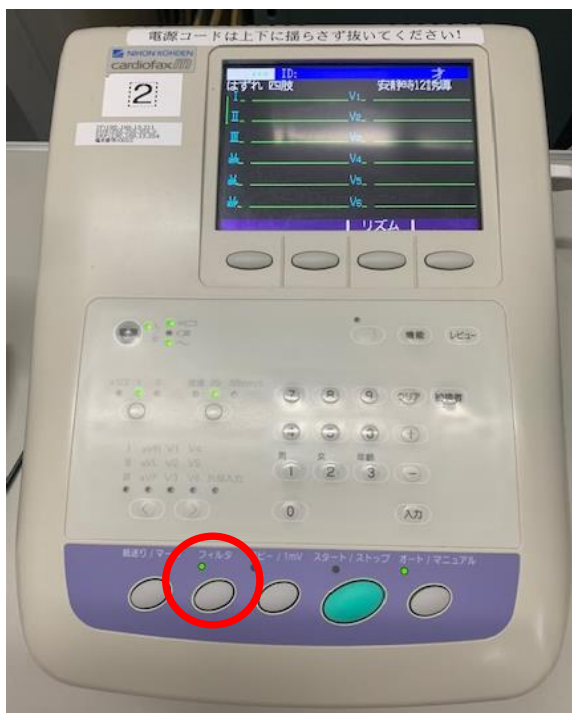
4-2. 延長の仕方

- ① **【赤枠】** ボタンを押すとオートが解除され(点滅する)マニュアルになる
- ②四肢誘導を2枚ほど記録延長したら **【赤枠】** ボタンを押すと、次のページから胸部誘導に切り替わる
- ③再度 **【赤枠】** ボタンを押して胸部誘導を2枚ほど記録延長したら、**【赤枠】** ボタンを押し、マニュアルを解除すると解析へ切り替わる



4-3. フィルターの使用について

フィルターは、再度ボタンを押さないとOFFに切り替わらないので注意!!

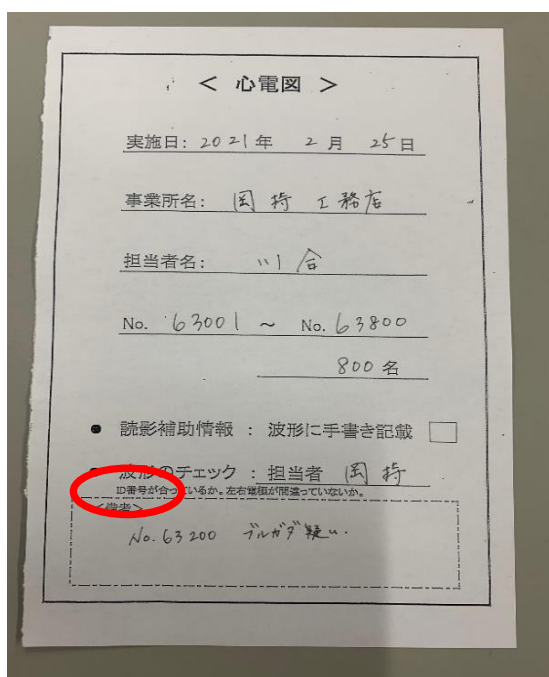


※ 検査時のコメントがあれば心電図表紙の備考欄に記載する。

(最後に印刷するリストにも記載する。)

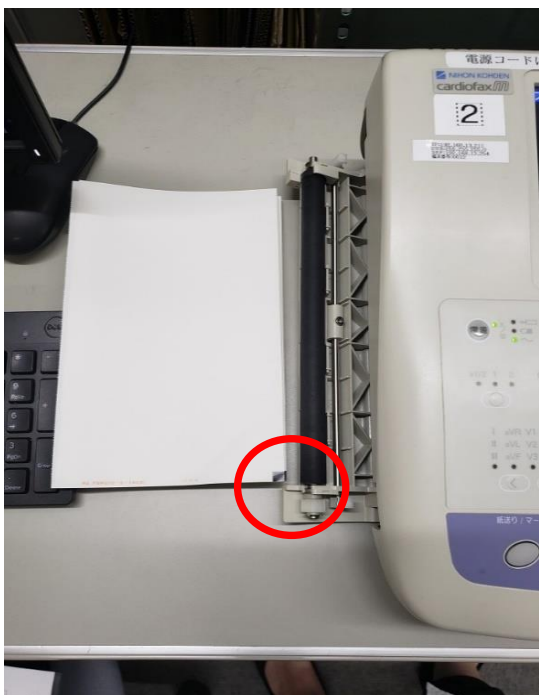
読影医に伝えたいことは一覧表にも記載し、マッチング後にステラオーダーから技師コメントを入力する。

ex) 右手麻痺の為フィルター使用
筋電図混入の為
右胸心
ブルガダ疑い など

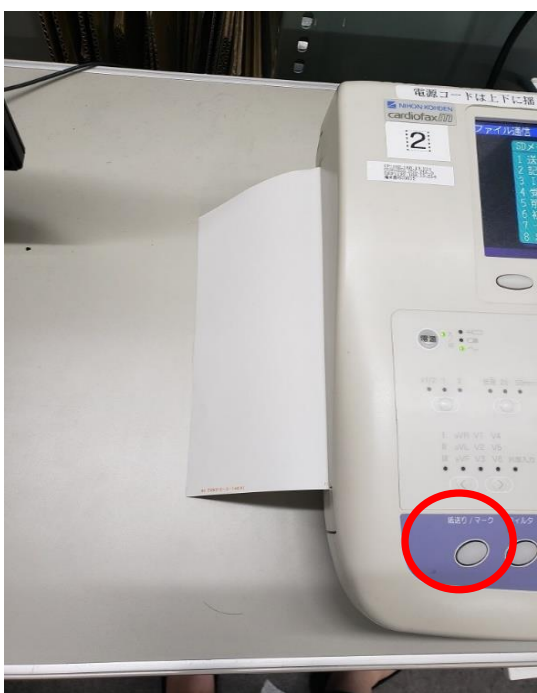


4-4. ペーパーの入れ方

- ①心電計の左にあるつまみを押してフタをあげる
- ②ペーパーの黒い印を右下にし、心電計に挿入する
このとき最初の一枚を挟めた状態でフタを閉める

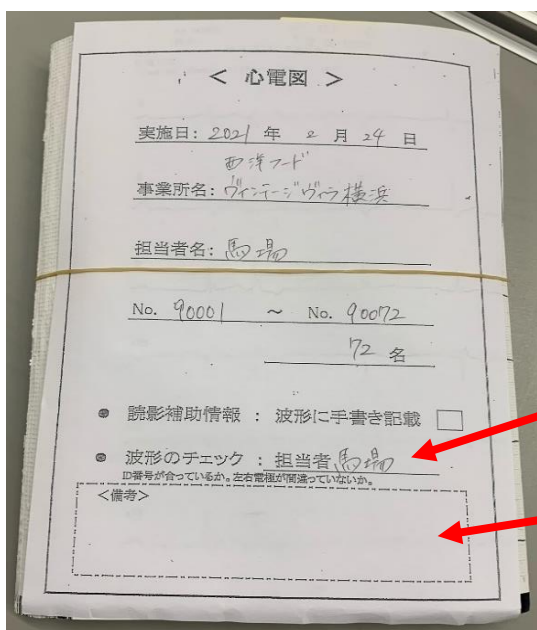


- ③心電計の「紙送り」ボタンを押して、ページを合わせる



4-5. 波形集計・提出

- ①波形を受診番号順に並べる
- ②全員分の電極の付け間違いや患者情報の入力間違いがないかを確認する
- ③心電図表紙に実施日、事業所名、担当者名、受診番号、総件数 を記載し波形とまとめる
現場のチーフにSDカードを当日提出するか確認する

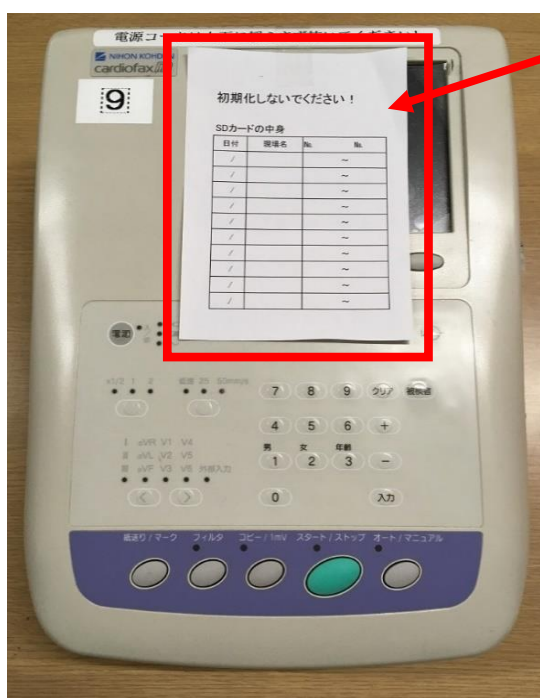


波形のチェック

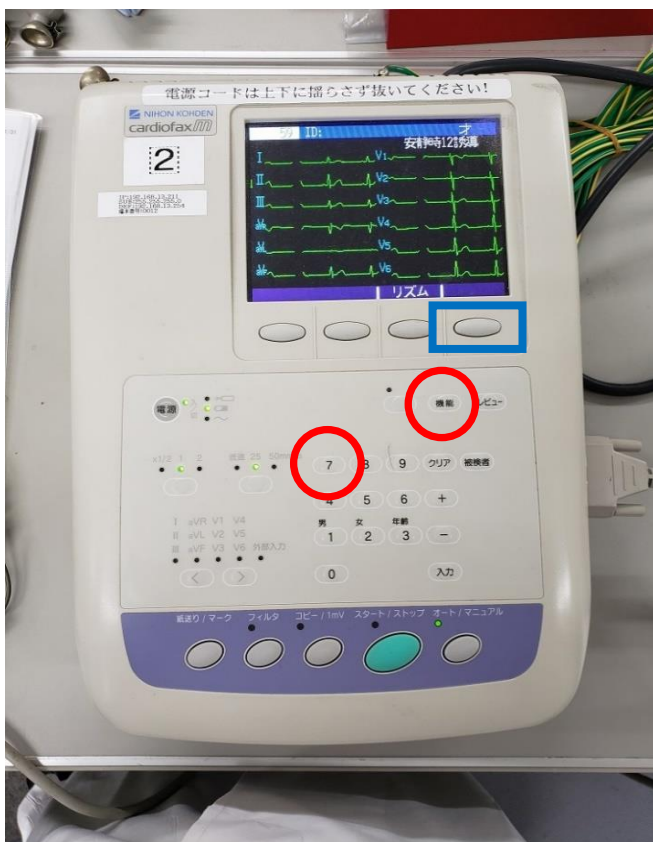
派遣職員や新人など慣れていない人が担当する場合は、必ず慣れた職員が波形のチェックを行うこと

読影医に伝えたいことは備考欄に記入し
マッチング後に技師コメント入力
(最後に印刷するリストにも記載する。)

- ④明日以降、同じSDカードを使用する場合、心電計本体に「SDカードの中身」一覧を貼る



- ⑤心電計の「機能」ボタンを押し、「7.ファイル通信」 → 「7.一覧記録」を押し
 本日の日付で間違いなければ記録ボタン【青枠】を押して一覧表を印刷する



- ⑥一覧表の空いているスペースに以下の情報を記載する

「現場名」・「人数」・「検査担当者名」・「技師コメント」

※もし2枚以上記録をした場合、Dr.に提出したいデータと削除して良いデータがわかるように、一覧表に記載する

ファイル一覧記録

No.	日付	時間	ID
1	2019年 3月15日	9:50 AM	230022
2	2019年 3月15日	9:48 AM	230023
3	2019年 3月15日	9:45 AM	230021
4	2019年 3月15日	9:42 AM	230020
5	2019年 3月15日	9:35 AM	230019
6	2019年 3月15日	9:32 AM	230018
7	2019年 3月15日	9:27 AM	230017
8	2019年 3月15日	9:15 AM	230016
9	2019年 3月15日	9:10 AM	230015
10	2019年 3月15日	9:00 AM	230014
11	2019年 3月15日	8:57 AM	230013
12	2019年 3月15日	8:47 AM	230012
13	2019年 3月15日	8:40 AM	230011
14	2019年 3月15日	8:38 AM	230010
15	2019年 3月15日	8:36 AM	230009
16	2019年 3月15日	8:33 AM	230008
17	2019年 3月15日	8:26 AM	230007
18	2019年 3月15日	8:24 AM	230006
19	2019年 3月15日	8:21 AM	230005
20	2019年 3月15日	8:16 AM	230004
21	2019年 3月15日	8:01 AM	230003
22	2019年 3月15日	7:57 AM	230002
23	2019年 3月15日	7:55 AM	230001

帝国重工
23名
山田

原則として現場では削除は行わない
 (必要な波形を削除してしまう危険があるため)



マッチングツールに落としてから必要なものを選ぶ

⚠ 必要ないものは一覧表のNo.に
 ×をするなど処理する人が分かる
 ように。

記入例

番号に間違いはないか確認

人数が合っているか確認

⑦SDカードと共にポーチの中に入れ、ポーチと波形を現場チーフに提出する

5. 後片付け

5-1. 後片付け

胸部電極エコパドは水洗いし水を切り、エコパド入れに戻す

四肢電極ガーゼを新しいものと取り換える

※**毎週最後の現場**で（土日があればその現場）エコパドは捨てる

毎週月曜日に新しいエコパドを使用すること

（開封済のものがパド入れに入っている場合でも新しいものに変えてOK）

※タオルは使用した場合に交換する

6. 取り決め

巡回心電図検査 取り決め

<至急！連絡が必要な波形>

- 1：心室性期外収縮の連発（3連発以上）
- 2：発作性上室性頻拍疑（心拍数130以上）
- 3：徐脈（心拍数35未満）
- 4：2.5秒以上の洞停止



◆ 医師に心電図波形を見せて、診察してもらう。

◇ 医師の判断で心電図コピー紹介状を当日渡す。

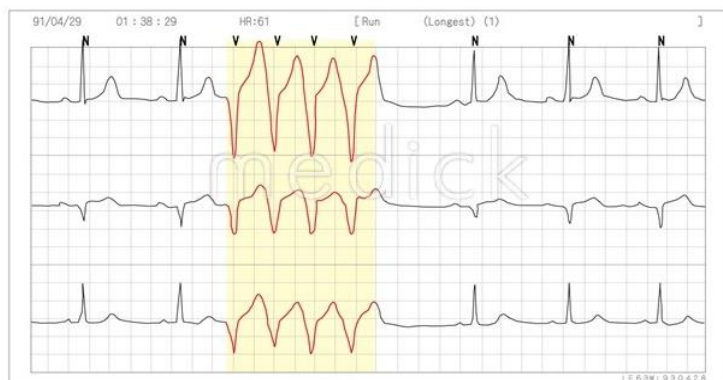
◆ 現場で確認が出来た場合は、心電図の余白に詳細を記載し読影に回す。

◇ 医師による確認が出来なかった場合は、その旨を記載して早めに読影に回す。

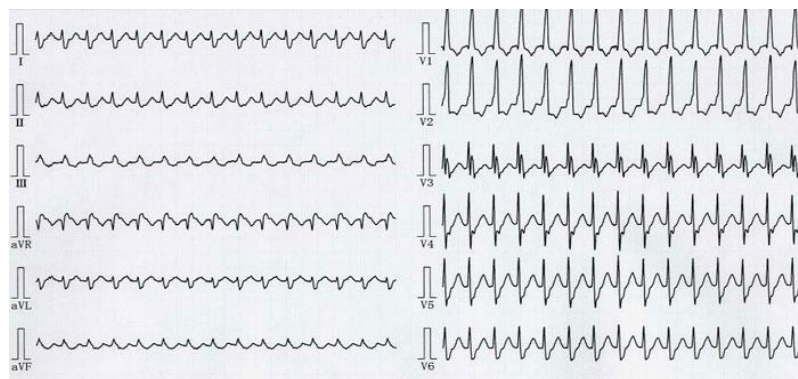
<長めにとった方が良い波形>

- 1：房室ブロック（Ⅱ度以上）
- 2：徐脈（心拍数50以下）
- 3：連発ではない3回以上の期外収縮
- 4：心房細動などの発作性不整脈

<心室性期外収縮の4連発>



<発作性上室性頻拍>



巡回心電図検査 取り決め

<ブルガダ型心電図について>

※胸部誘導V1～V3でcoved型またはsaddle back型のST上昇が見られた場合
(自動解析でBurugadaの判定が出ないので、技師の判断で行ってください)



Coved type



Saddleback type

【現場で行う事】

- ①通常の電極位置で記録する。
- ②胸部電極V1～V6を1肋間上げて電極を付け、追加記録を行う。
- ③追加問診を行う。

※指差しで答えてください

①家族内に突然死した方がいますか？

はい いいえ

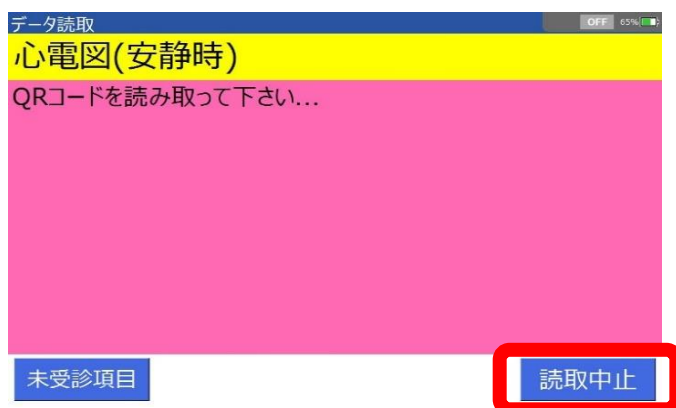
②あなたは過去に意識消失をしたことがありますか？

はい いいえ

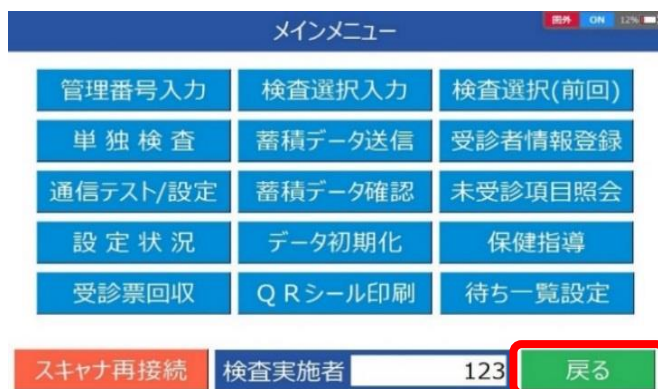
④2つの波形を1つにまとめる

- ・SDカードより波形を取り込む(この場合は受付処理が終わっていることを確認)
- ・権限を持つ役職者に波形をまとめてもらう
- ・技師コメントも入力してもらう(追加問診も)

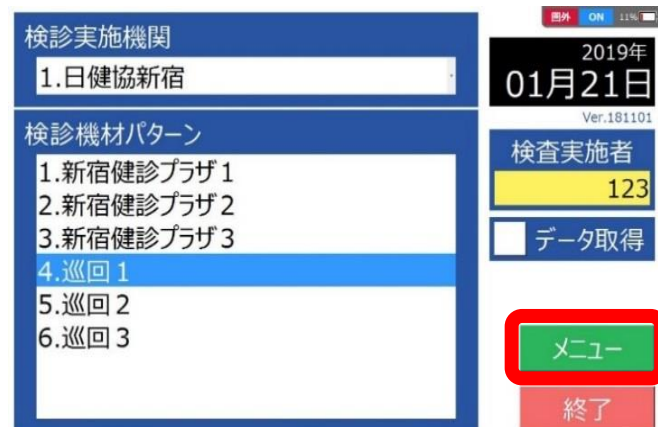
7. 片付け



- 受診者全員の検査が終了したら、「読取中止」をタップし、メインメニューに戻る



- メインメニューで「戻る」をタップ



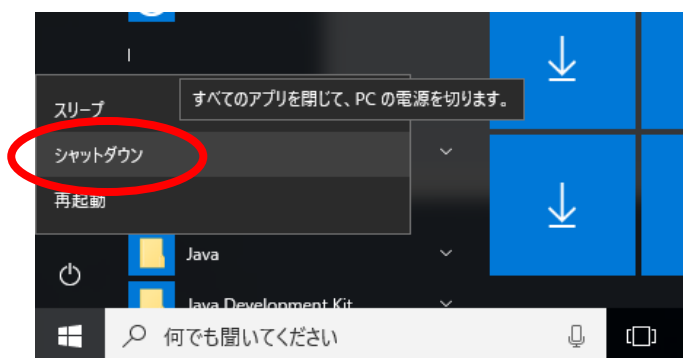
- 「終了」をタップで、健診ソフトを終了



- タブレット画面左下の「Windowsボタン」をタップ



□「電源ボタン」をタップ



□「シャットダウン」をタップ



□QRスキャナのカバーを外す



□次の検査のために、充電していた電池と入れ替える



□コードを束ねて、タブレットセットに収納



□番号が見えるように平たく収納

※延長コードまでケースに仕舞わないこと

※その他、器材故障やトラブル等あったら、その日の現場チーフに報告する